

うららかな春 「お茶でもいかが？」

第二保育園 お茶会



Touhoku

2011 4月号 広報 とうほく

今月の主な内容

- 文化、体育・スポーツ賞 …… 2~3
- 教育委員会表彰 …… 4~5
- 郷土芸能発表会 …… 6~7
- まちの話題 …… 8~13
- 健康家族 …… 14~15
- 町職員人事異動 …… 16~17
- お知らせ …… 18~22
- 戸籍の窓 …… 23
- わが家のアイドル …… 24

2011
4月号
広報とうほくNo.72

町文化賞、体育・スポーツ賞

平成22年度町文化賞、体育・スポーツ賞授与式が2月19日、コミュニティセンター未来館で行われ、文化やスポーツの分野で活躍した45人と9団体が受賞しました。

式では、斗賀町長が受賞者に表彰状を手渡し、「今後もそれぞれの分野において、さらなる精進活躍を期待します」と式辞を述べました。

また、受賞者を代表して、体育・スポーツ功労賞を受賞した町野球協会審判部の新山賢一さんが「受賞を機にこれからも誠心誠意努力をし、まい進していきます」とお礼の言葉を述べました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

●文化賞

○文化賞

- ・山本セツ(町文化協会水墨画)
- ・市川正子(同)
- ・沢居武義(日本習字東北町支部)

○文化功労賞

- ・大坂チエ(町文化協会陶芸クラブ)

○文化奨励賞

- ・中村妙子(日本習字乙供支部)
- ・沼山ひかり(同)
- ・澤田あかり

(三沢商業高 吹奏楽)

- ・米内山香那(同)

- ・西野拓真(同)

- ・久田真梨子(同)

- ・澤口世玲奈(同)

- ・沼田由加里(同)

- ・阿部華佳(同)

- ・内山佑佳(同)

- ・漆畑聖香(同)

- ・野田安貴子(同)

- ・鶴ヶ崎瑞希

(三沢商業高 ワープロ)

- ・川畑真紀

(三本木農業高 農業クラブ)

- ・鶴ヶ崎圭介(同)

- ・沼辺誠貴(同)

- ・沼辺龍志(同)

- ・沼尾拳人(同)
- ・鶴ヶ崎祐岐(同)

●体育・スポーツ賞

○功労賞

- ・新山賢一(町野球協会審判部)
- ・蛭名壽昭(同)

○特別賞

- ・故 甲地晴彦(町剣道協会)

○スポーツ賞

- ・小原徳見(県居合道連盟)
- ・伊藤彰英(明治大 スキー)
- ・黒川遼(青森山田高 駅伝)
- ・鶴ヶ崎祐岐

(三本木農業高 ラグビー)

- ・附田修宏

(八戸工大一高 ソフトテニス)



お礼の言葉を述べる新山賢一さん

- ・乙供大輔(同)
- ・清水目亮(野辺地高 スキー)

○優秀選手賞(個人)

- ・岡山牧夫

(県マスターズ陸上競技協会)

- ・白井信三(同)

- ・須川チエ(同)

- ・新山さつ(同)

- ・川口幹雄(同)

- ・久保田一生(同)

- ・小坂真弓

(三沢シーハイル スキー)

- ・蛭沢裕一(町陸上競技協会)

- ・沼山寿憲(同)

- ・坂本司(町水泳協会)

- ・沢尾美香(同)

- ・長嶺利貴

(三本木農業高 アーチエリ)

- ・山中洸司

(野辺地高 ハンドボール)

- ・沢田慎悟(同)

- ・西濱大貴(同)

- ・成田慶(三沢高 陸上競技)

- ・澤田悠史(青森北高 柔道)

- ・沼山ななみ

(八戸聖ウルスラ学院高ソフトボール)

- ・蛭沢奎(光星学院高 駅伝)

- ・中村雅人

(八戸工第一高 剣道)

- ・岡山蓮(八戸高 スキー)

- ・沼村有佑子

(東奥義塾高 卓球)



受賞者に斗賀町長から賞状が手渡されました

○優秀選手賞（団体）

◇町民駅伝チーム

- ・小坂利也、千曳健二、久保田一生、竹内恒幸、松尾雅樹、甲地武仁、小坂真弓、小林祐介、蛭沢奎、小坂恭平、久保田泰知、榎本盟

◇町柔道協会

- ・浜田靖信、和田雄二、佐藤慶、天間明彦、野村尚人、鶴ヶ崎泰幸、鶴ヶ崎平一郎、和田祐人、森川卓也、阿部治

◇町ボウリング協会

- ・蛭名誠、和田博、瀬川明、田嶋勝則、蛭名俊彦、和賀君夫

◇町ソフトボール協会（女子）

- ・山田美奈子、新山亜也子、

- 蛭沢志美、川崎直子、小笠原佳寿美、和賀華恵、宮里香織、蛭名香織、沼山瑞季、甲田弘子、沼辺陽子、附田真由美、竹内美帆、蛭名史織、土橋唯香

◇町バレーボール協会（家庭婦人）

- ・沼山さよ、山田敦子、久保田利子、下斗米伊久子、松山里美、高松幸、甲地淳子、甲地憲子、鶴ヶ崎寿子、蛭沢郁子、清水頭愛美、高田千代江、中村彩子、野田頭ひとみ

◇町バレーボール協会（男子）

- ・山本卓真、蛭名武文、小林嘉治、上野俊、鶴ヶ崎秋義、佐々木嘉一

◇町ゲートボール協会乙供チーム

- ・中山昭太郎、蛭名七之助、市川操、野田頭淑枝、清水目圭子、小林トキ、蛭名リセ、瀬川トミ

◇すみれんジャーA

（フラインボール）

- ・長久保幸吉、木村潤一、吹越政義、蛭名未来男

◇すみれんジャーB

（フラインボール）

- ・荒木武美、李沢トキエ、工藤秀子



文化やスポーツの分野で活躍した45人と9団体が受賞しました

町教育委員会表彰

平成22年度町教育委員会表彰授与式が2月27日、コミュニティセンター未来館で行われ、文化やスポーツの分野で活躍した203人が受賞しました。

式では、松山富雄教育長が「今後の更なる活躍に期待します」と式辞を述べ、受賞者に表彰状を手渡しました。

また、受賞者を代表して、東北中3年の乙供亜美さんが「お世話になった方への感謝の気持ちを忘れず、勉強や部活動に一層励みます」とお礼の言葉を述べました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

●特別賞
故 野田頭徳美

●指導者賞
川原朋子

●奨励賞
○第一小

【6年】

高田愛佳
蛸名未来
佐々木莉子
福田美佐子
米内山裕樹

【5年】

佐々木花梨
瀬川櫻
沢尾麻莉亜
内山めぐみ
稲垣黎

【4年】

町屋愛理紗
町屋優花
沢尾杏菜
宮里海斗
高田満有
瀬川育美

【3年】

木村陽南
立崎由惟
蛸名賀子
蛸名一葉

○上北小
【6年】

蛸名俊吉
和田美悠
佐々木彩
松坂友香子
蛸名真優
柳澤未羽
野田幸世
町屋ひかる

【5年】

阿部洗生
川村廉
蛸名風日
山田昂雅
新山玲海
町屋ひかる

【4年】

小笠原拓磨
野田拓成
川原鈴乃
沼尾月乃
大西彩
米内山元貴
和田聡輝

【3年】

佐藤楓隼
和田悠子
蛸名りりか
蛸名優絢
和田真衣

【2年】

和田陽寛
大西恋碧
千葉晟登



受賞者に松山教育長から賞状が手渡されました

○小川原小

【6年】

沼澤将太
市川悠太
吉野佳吾
小笠原凜
坂本真斗

【3年】

和田圭尉
大平啓心
佐々木美音
白石大
蛸名喜子
蛸名美希

【1年】

野田咲桜

○甲地小
【6年】

鶴居陸斗
福村千花
沼田一哉
長久保紗紀
吹越由季
鶴ヶ崎結菜
鶴ヶ崎亜紗美

【5年】

岡山杏由美
吹越清陽
岡山聖一
高橋桐生
岡山莉々
鶴ヶ崎大誠
濱田棋平
沼山勇馬

【4年】

野田頭龍生
吹越由梨
浜田照英

【3年】

木津純陽
長久保有理菜
沼山敬愛
岡山日向子
沼辺裕人
濱田健太郎
沼田鈴蘭

【2年】

沼田鈴蘭

教育委員会表彰

○蛭沢小

- 【6年】 向井亜美 服部藍 蛭沢向日葵 蓬畑実紗 酒田佳旺 二ツ森朱 小林若毅 常盤萌々華 久保田和佳 黒川卓 甲地尚哉 下浅翔 向井佳乃 松山一途
- 【5年】 甲地玲奈 蛭澤孝子 笹倉圭介 松尾鴻雅 野田頭海 沼辺咲樹
- 【4年】 福村里緒 小又菜々羽 岡山うらら 甲地優花 服部綾耶 久保田琉聖 新堂帆乃花 本間康幸 鎌本羽都姫



中学生57人が奨励賞を受賞

○千曳小

- 【6年】 和田風奈 長久保凜成 乙供怜

○水喰小

- 【6年】 中村愛梨

- 【3年】 柴崎菜々海
- 【2年】 久保田瑠衣 漆戸聡那華 洞内幸咲
- 【1年】 松尾真奈斗 小又ひかる 柴崎湧斗 鎌本圭史郎

- 【6年】 野田頭扶
- 【5年】 野田頭峻也
- 【4年】 神谷美洸 小原温敬

○上北中



受賞者を代表してお礼の言葉を述べる 東北中3年の乙供亜美さん

- 【3年】 沼村拓朗 沼村朋弥 和田浩太 坂本翔 笹原拓人 沼尾亜美 榊翔弥 市川琴美 小笠原ひかり 野田志織 高田潤美 阿部優貴子 瀬川真実子 宮里彩花
- 【2年】 和田莉佳 差波維
- 【1年】 千葉裕介 和田智哉 蛭名為帆 新山昌鷹 町屋拓巳 野田彩葉 新山綾華 井上侑大 蛭名一生 松尾智樹 大山直人 瀬川雅泰 沼山裕斗 小笠原慶 小笠原陵雅 新山真生 小笠原桃香

○東北中

- 【3年】 乙供亜美 常盤祐美奈 向井陸斗 松山淳 伊藤彰斗 大杉翼 久保田雅貴 上崎知比路 蛭沢愛梨 沼村桃花 洞内晃喜 瀬川奈那 向井翔人
- 【2年】 大丸陽平 川口侑華 中村翔子 久保玲奈 蓬畑優華 漆戸雛 吹越清優 久保田法教 岩清水慶多
- 【1年】 川村碧月 沼辺美桜 野田頭拓哉



文化やスポーツで活躍した203人が表彰を受けました

伝統の舞、 勇壮に

郷土芸能発表会



第5回町郷土芸能発表会が2月20日、コミュニティセンター未来館で開かれ、五穀豊穣や家内安全を願う伝統の舞が披露されました。

発表会では、町内6つの神楽保存会の皆さんが、太鼓や笛、手平がねの拍子に合わせて勇壮に舞い、詰め掛けた観衆から大きな拍手を浴びていました。

息ぴったりにアクロバティックな小獅子舞を披露する八幡神楽保存会の向井勝一さんと町屋辰則さん

大人たちに交じってリズムカルに手平がねの音色を響かせる水喰神楽保存会の松山洸希君（左）



権現舞を披露する水喰神楽保存会の
松山俊一さん、松山和哉さん、大杉樹さん



鳥舞を舞う保戸沢神楽保存会の
長久保博さんと山田大樹さん



小川原神楽連中保存会の田浦美里さんと小笠原
佳寿美さんは五穀豊穡を願う稲刈舞を披露



激しい動きの三番叟で観衆を魅了する
鶴ヶ崎神楽の鶴ヶ崎慎一さんと鶴ヶ崎善貴さん



観衆の無病息災を願い権現舞を舞う甲地神楽保存会の
吹越太一さんと吹越匡貴さん



能面をかぶり見えを切る小川原神楽連中保存会の
小笠原勝紀さん

まちの話題 Town's topics

イベントの情報や身の回りで起きた出来事など、情報をお寄せください。
また、広報に関するご意見やご希望等ございましたら、匿名でも構いませんのでお待ちしております。
役場企画課 広報係 Tel.0176-56-3111(代表)またはTel.0175-63-2111(内線233)

— 蛭沢香菜子さんプロフィール —

手踊りが好きだった母、大石ゆき子さん（千曳）の勧めで、5歳から「石川流二代目石川久美子社中」で手踊りを習う。小学4年生から毎年、手踊名人決定戦の本選へ出場。6年生では子供の部で優勝を果たす。

昨年10月の民謡民舞全国大会では、団体の部で内閣総理大臣賞に輝いている。

2月20日に開催された「第9回県民謡グランプリ・第41回手踊名人決定戦（RAB放送主催）」において、蛭沢香菜子さん（表町）が東北町初の「手踊名人位」に輝きました。
同決定戦は、津軽民謡と南部民謡の手踊りが一緒に競う日本唯一の大会。それぞれの予選を勝ち抜いた6人ずつだけが本戦へ出場でき、その最高位である「名人位」は手踊りを志す人たちにとって最高の荣誉です。
蛭沢さんは週1回、石川流二

十八番、津軽三下りで手踊りの頂点 蛭沢香菜子さん手踊名人位



手踊りを勧めた母の大石ゆき子さん（右）と一緒に笑顔を見せる蛭沢香菜子さん

代目石川久美子社中の稽古場がある青森市に通って練習していますが、昨年は惜しくも「準名人位」と涙を飲んでいただけに、今年は大大会前の2週間、毎日稽古に汗を流しました。
今年の大会で披露したのは、津軽手踊りの中で最も難しいとされる「津軽三下り」で、蛭沢さんにとっては幼い頃から踊り続けてきた「十八番」。「津軽三下りを極めるため、舞いの強弱や「キレ」を意識しました」と、20年余り続けてきた手踊りの集大成を発揮しました。
「全力を出し切った」と自分

「つらいこともありましたが、多くの人の支えがあつて乗り越えることができました」と感謝を表した蛭沢さん。これからは手踊名人位としてさまざまなイベントに招待されるほか、来年の同大会へのゲスト出演が決まっています。
今後の抱負については「名人位としての誇りを持ち、これまで学んできたことを後輩たちへ伝えていきたいです」と笑顔。また「これを機に東北町でも手踊りをする人が増えたらうれしいですね」話していました。



名人位の喜びを分かち合う師匠の石川久美子さん（中）と総師範の石川直子さん（左）

**福祉活動貢献者を表彰
町社会福祉大会**

第3回町社会福祉大会が2月17日、コミュニティセンター未来館で開かれ、参加した約250人の関係者が、福祉のまちづくりへの思いを新たにしました。

大会は、水喰保育園の園児によるアトラクションで幕開け。町社会福祉協議会の松本祐次郎会長職務代理者らのあいさつに続き、福祉活動に貢献のあった22人が表彰されました。

これを受けて、被表彰者代表の榎本興悦さんが「今後も社会福祉や地域福祉活動に努めます」と謝辞を述べました。



福祉活動の貢献者が表彰を受けました



力強くきねを振るう子どもたち

**収穫の喜び味わう
上北小紫黒米餅つき会**

上北小学校（山田春雄校長）は2月18日、紫黒米餅つき会を開き、5年生62人が収穫の喜びを味わいました。

児童たちは、昨年5月の田植えや10月の収穫などで協力をしてもらった八甲田黒米栽培研究所の皆さんらの手助けを得ながら力強くきねを振るい、つきたての餅はあんこをつけて味わいました。

また、紫黒米の研究発表会も行われ、班ごとに栽培体験記録や栄養素、歴史などを発表し合いました。

**男子上北中連覇郡
中学校バスケット大会**

第29回上北郡中学校バスケットボール大会が2月19日、20日の両日、トレーニングセンターで開かれ、出場した男子4チーム、女子9チームの選手たちが熱戦を繰り広げました。

町内からは、男子に上北中、女子に上北中と東北中が出場しました。

開会式では、東北中バスケットボール部女子主将の田中希実さんが選手宣誓をしました。

リーグ戦で行われた男子は上北中が全3試合で圧勝し、みごと2連覇を果たしました。



シュートを放つ上北中バスケット部主将の土橋拓弥選手（No.4）

**乙供婦人会が栄冠
婦人室内運動会**

第5回婦人室内運動会が2月26日、トレーニングセンターで開かれ、参加した町連合婦人会の会員約100人が5種目の競技に汗を流し、親睦を深めました。

大会では、町内12の婦人会が8チームに分かれ、ボール運びリレーや輪投げ、借り物競争などの競技でハッスルプレーを展開し、冬期間の運動不足を解消していました。

上位の結果は次のとおりです。

- ①乙供婦人会 ②甲地婦人会
- ③内姥沢・外姥沢婦人会



ボール運びリレーに汗を流す参加者たち

夢とゆとりのある農業経営を目指して

家族経営協定合同調印式

平成22年度家族経営協定合同調印式が2月23日、青森原燃テクノロジーセンターで開かれました。

協定は労働報酬や労働時間など、家庭内でのルールを取り交わすことにより、農業経営にやりがいを持たせる狙いがあり、今年には町内3世帯が新規協定を、1世帯が見直し協定を締結。また既に昨年6月に協定を締結した2世帯も出席しました。

式では、町農業委員会の久保田武会長が「魅力ある農業経営



協定書に署名、調印する家族



締結者を代表して抱負を述べる萌出司さん

のために家族の絆をより深め、農業の無限の可能性にチャレンジしてください」と激励しました。

続いて、久保田会長と上北地域県民局地域農林水産部普及振興室の外川真稔室長の立会いの下、1家族ずつ協定書に署名、調印しました。

協定締結者を代表して、萌出司さん（萌出）が「調印式を機に、家族の絆を大切にし、夢とゆとりのある農産物生産に努めていきます」と抱負を述べました。

なお調印式の前後には、農業者年金研修会が行われました。



優勝した「ぎりぎりガールズ」

10チームが熱戦 ママさんソフトバレー

第5回町ママさんソフトバレーボール大会が2月27日、北総合運動公園トレーニングセンターで開催され、出場選手が優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

冬の間の運動不足解消と健康増進のために開催した同大会には、町内会や職場のメンバー、仲間同士で結成した10チームが参加。さわやかな汗を流しながら親睦を深めていました。

上位の結果は次のとおりです。

- ①ぎりぎりガールズ②はやて
- ③はやぶさ

角巻姿で湖畔を散策 湖畔角巻姿体験ツアー

おがわら湖温泉旅館組合（沢田禮組合長）は、角巻姿で冬の湖畔散策や温泉入浴などを楽しむ「小川原湖畔角巻姿体験ツアー」を実施しました。

ツアーは県内観光事業者らでつくる「あおもり角巻ネットワーク」との連携事業で、3月3日には青森市からのツアー客14人が参加。昔懐かしい角巻を身に付けて、冬の湖や玉代・勝世姫像を見学した後、温泉に入浴し、ワカサギ料理などを盛り込んだ「小川原湖定食」に舌鼓を打ちました。



角巻を身に付け湖畔を散策するツアー参加者

ひな壇前でお点前披露
第二保育園お茶会

第二保育園（田嶋悟園長）は3月3日、ひなまつりを兼ねたお茶会を開き、年長園児26人が自作の茶碗を使って茶道に挑戦しました。

ひな壇の前に行儀よく正座した園児たちは、裏千家青森支部十和田分会の会員4人から、お辞儀の仕方や和菓子の食べ方など茶道の礼儀作法を学び、お点前を披露しました。

甘い桜餅の後にちよっぴり苦い抹茶をいただいた園児たちは、お茶の先生に感謝を込めて「ひなまつり」を歌いました。



行儀よく抹茶をいただく園児たち



日本語で自己紹介する中国農業実習生

東北町の皆さんニハオ
中国農業実習生歓迎会

ゆうき青森農協（大関政敏組合長）は3月10日、同農協本所で中国農業実習生歓迎会を開き、24人の実習生と17の受け入れ農家の皆さんが、実習の成功を誓い合いました。

歓迎会では、実習生一人一人が日本語で自己紹介。続いて、実習生団長の涂秋蘭（と・しゅうらん）さんが「仕事面でも生活面でも一生懸命頑張ります」とあいさつをしました。

実習生たちは、11月までホームステイしながら働き、農業技術を学ぶことになっています。

小川原小児童制作のシジミアート披露
宝湖（たからこ）活性化協議会

第2回宝湖（たからこ）活性化協議会が3月4日、町民文化センターで開かれました。

同協議会は、小川原湖の水資源を活用した地域活性化を推進するため、昨年6月に湖周辺の市町村の農協や商工会関係者らで設立。平成22年度はオリジナルメニューの開発や、魚介類の魅力をPRするイベント「おがわら湖美味満彩祭り」の開催などを行いました。

この日の協議会では、新年度の活動について話し合わせ、オリジナルメニューをベースにした商品開発と、商品化した料理



オリジナルメニュー 16品の試食会



小川原小児童が制作したシジミアート

を味わうことができ、飲食店を掲載したマップ作りなどを行うことを決めました。

続いて、会員が考案したオリジナルメニューの試食会が開かれ、関係者がシジミのリゾットや生シラウオ丼など16品目の味を確かめました。

また、小川原小学校の6年生11人がシジミの貝殻を使い、3カ月ほどかけて制作したシジミアート「語りつごう小川原湖伝説」を披露。子供たちのアイデア満載の力作に、出席者から感嘆の声が上がっていました。

停電、断水、ガソリン不足 東日本大震災

3月11日、午後2時46分に発生した「東日本大震災（マグニチュード9.0）」では、東北町で「震度5強」を観測。停電や断水など、ライフラインがストップする被害がありました。町では、同日午後3時30分に、斗賀町長を本部長とする災害対策本部を設置。被害状況の収集や災害対策についての打ち合わせなどを行いました。

町内の公共施設の被害は、ふれあいドーム上北と東北中学校、中央公民館でガラスの破損、



断水のあった地域で行われた給水作業

上北中学校で空気清浄機の損傷がありました。

町道156号線の川去川付近（大浦）では道路が陥没したため一時通行止めになったほか、青森銀行乙供支店近くの中乙供橋で亀裂が確認されたため通行止めに。また、花切橋（花向町）付近の水道管で漏水する被害がありました。

地震直後から町内全域が丸一日以上停電。その影響から町内各地で断水となり、3月12日と13日の両日、町の給水車2台による給水作業が行われました。併せて、一人暮らし高齢者など災害時要援護者へ、飲料水と毛布の配布も行われました。

津波の被害はありませんでしたが、漁師さんによると「小川原湖の水位が一時30センチほど上昇した」とのことでした。

町内のコンビニエンスストアやスーパーマーケットには、カップ麺やパン、ミネラルウォーターなどの飲食品や、乾電池などといった非常用の物品を買い求める人が殺到。次々に陳列ケースから商品がなくなっ



ガソリンスタンド前には給油を求める車の長い列

ていきました。

また、東日本への物流がストップしたことにより石油製品の供給不足が深刻化。ガソリンスタンドに給油を求める車が列をなし町内各地で渋滞が発生したほか、町民バスは3月17日から2週間余り運休。十和田観光電鉄の路線バスも大幅な減便や運休を行いました。

青い森鉄道も地震後に運休となりましたが、3月16日から八戸・青森間の運行が復旧となりました。

イベントや行事の中止・延期も相次ぎ、13日の「文化協会舞台部門芸能発表会」などが実施を取り止めました。

被災地へ善意送る 支援物資を受付

町では3月25日から3日間、町社会福祉協議会の本所と上北支所で、東日本大震災被災者への支援物資を受け付けました。

期間中は大勢の町民や事業所の方が生活・衛生用品や衣類、食料品などを持参。町民生委員らが仕分け作業を行いました。3月30日には出発式が行われ、斗賀町長らがコマや段ボール箱200個余りの物資を積んだトラックを見送りました。

物資は地方自治体の搬入先である岩手産業文化センターへ搬送され、その後避難所などへ届けられることになっています。



大勢の町民から物資が集まりました



赤川にサケの稚魚を放流する園児たち

元気に帰ってきてね
園児がサケの稚魚放流

東北ロータリークラブ（原田憲一会長）は3月24日、乙供橋近くの赤川へサケの稚魚約3千匹を放流しました。
子どもたちに自然や環境保護への関心を高めてもらおうと4年前から行っているこの放流には、東北地区5保育園の卒園児58人が招待されました。
園児たちは、奥入瀬川鮭鱒増殖漁協の職員から5分ほどの稚魚をバケツに入れてもらおうと「元気に帰ってきてね」などと声を掛けながら放流し、川を下っていく稚魚を笑顔で見守っていました。

善意ありがとう

◆高橋薬局（南町）は2月10日、学校教育に役立ててくださいと、町奨学基金に14万4000円を寄付しました。

◆けんしんようわかさぎ会（和田竹千代会長）は2月23日、地域福祉に役立ててくださいと、会員から募ったチャリティー募金6万円を町社会福祉協議会に寄付しました。

◆北守末人さん（千曳）は3月11日、地域福祉に役立ててくださいと、町社会福祉協議会に10万円を寄付しました。

◆東北町商工会女性部（中美久里子部長）は3月18日、学校教育に役立ててくださいと、町奨学基金に3万円を寄付しました。

◆松本祐次郎さん（南町）は3月23日、地域福祉に役立ててくださいと、町社会福祉協議会に4万円を寄付しました。

東日本大震災の災害復興に義援金を

日本赤十字社

- 口座振込 ○ゆうちょ銀行…No.00140-8-507 日本赤十字社 東北関東大震災義援金
○町内金融機関…各支店に設置されている義援金専用振込用紙を使用
- 現金受付 ○役場本庁舎および分庁舎の福祉課窓口
- 問合せ ○役場福祉課 TEL0176-56-3111またはTEL0175-63-2111

中央共同募金会・青森県共同募金会

- 現金受付 ○東北町社会福祉協議会本所（TEL0175-63-2727）
○東北町社会福祉協議会上北支所（TEL0176-56-5552）
- 口座振込 ○青森銀行 新町支店 普通預金 No.617994
（福）青森県共同募金会 災害たすけあい口
○ゆうちょ銀行 郵便振替口座 No.02310-3-4753
（福）青森県共同募金会 〔通信欄に「義援金」と記入〕
○その他の金融機関についてはお問い合わせください。
- 問合せ ○青森県共同募金会 TEL017-722-2169

6. 子供の食育事業協力

平成22年度は、40回にわたって行われた「おいしくばくばく教室」、「ヘルシーっ子教室」、「楽しい料理教室」、「小学生クッキング」、「ジュニアクッキング」で、1,036人の子供たちにクッキング指導をしています。



子供たちが料理に挑戦「小学生クッキング」

あなたも食生活改善推進員に！

食生活改善推進員は、食生活や健康の問題を人に教える先生ではありません。

共に勉強して近所の皆さんと健康づくりのための世話役、案内役として、元気で活力のある健康な町づくりの推進力となってくれる人です。

今年の9月から町で開催する「食生活改善推進員養成教室」の講座を4日間受講し、修了証を受け、東北町食生活改善推進員会に入会してボランティア活動が始まります。

「食べることは健康のもと」それは正しい食事によって得られます。

「おいしく楽しい食事」それは主婦の手の内にあります。

これから始まる食生活改善推進員養成教室への参加をお待ちしています。

4・5月の健康カレンダー

(今年度から乳幼児健診ごとに会場が変わりますのでご注意ください)

問い合わせ先：保健衛生課
 東北町保健福祉センター 0175-63-2001
 上北保健福祉センター 0176-56-2933

事業名	対象者	実施日	受付時間	実施場所
乳児健診	・3～4カ月児(小児科診察・BCG) (平成22年11月17日～ 平成22年12月14日生まれ) *対象者には個別通知します	4月11日(月)		七戸病院 健康センター (小児科診察、BCGと股関節脱臼検査の日程が別日になります)
	・3～4カ月児(小児科診察・BCG) (平成22年12月15日～ 平成23年1月5日生まれ) *対象者には個別通知します	4月25日(月)	12:45～ 13:00	
	・3～4カ月児(小児科診察・BCG) (平成23年1月6日～ 平成23年1月19日生まれ) *対象者には個別通知します	5月9日(月)		
	・股関節脱臼検査 (平成22年11月17日～ 平成23年1月5日生まれ) *対象者には個別通知します	4月19日(火)	12:00～ 12:15	
	・6カ月児 (平成22年9月(上北地区のみ)、10月生まれ)	4月13日(水)	9:30～ 9:45	上北保健福祉センター
幼児健診	・1歳児健診 (平成22年3月(上北地区のみ)、4月生まれ)	4月13日(水)	12:45～ 13:00	上北保健福祉センター
	・3歳児健診 (平成19年9月生まれ)	5月16日(月)	12:30～ 12:45	東北町保健福祉センター
ほがらか教室	・40歳以上で自分または家族の協力で会場まで来られる方	4月21日(木) 5月13日(金)	9:30～ 12:00	上北保健福祉センター
	・初めて参加する方は保健師までご連絡ください。	4月20日(水) 5月12日(木)	9:30～ 12:00	東北町保健福祉センター
ポテトクラブ (精神障害者の集い)	・心の病気を治療中で社会復帰を目指している方および家族の方(初めて参加する方は申請書等の提出が必要ですので保健師までご連絡ください。)	4月20日(水) 5月12日(木)	10:00～ 12:00	東北町保健福祉センター
つつじ作業所		毎週月、水、木、金	10:00～ 15:00	中央公民館
所内健康相談	・町民	毎週水曜日	9:00～ 15:00	上北保健福祉センター
		毎週火、木曜日		東北町保健福祉センター

乳幼児健診・予防接種等を受ける際は、母子健康手帳を忘れずにお持ちください。



健康家族

保健師 72



こんにちは栄養士です 町保健衛生課

蛸名和子

町民の健康づくりの担い手

— 東北町ヘルスマイト —

新入生、新入社員などスタートの4月を迎えましたが、かつて私たちが経験したことのない東日本大震災や福島第一原発事故、さらには世界的な金融・経済危機など目に余る暗いニュースが続いています。

このような時こそ、生活者の目線で支援できるボランティアの体制を整え進めていくことが求められます。

さて、わが町の食生活改善推進員のボランティア活動も20年余りとなり、長い人生経験の中で得た生活の知恵や、人との交わり、良い食習慣、良い生活習慣の定着化に貢献しているヘルスマイトの活動は、町民の健康づくりの担い手として不可欠なパワーとなっています。

食生活推進員ってどんな人なの？

まず“自らの健康づくり”のための食生活・運動・休養について学習し、それを日常生活の中に定着させます。

そして、自分が知り得た技術や知識を伝える、社会にも認められたボランティア活動をする人たち（別称ヘルスマイト）で、東北町では現在80人が活動しています

食生活推進員はどんな活動をしているの？

1. ヘルスマイト学習会

食生活改善について調理実習、講義を受け、地域の講習会で伝達しています。

昨年度は9回開催し、延べ259人が参加しています。

2. おいしく健康講習会の開催

地域住民に正しい食生活の普及を図るとともに、食を通じた地域の交流を深めています。

昨年度は、29地区で433人の参加者がありました。



29地区でおいしく健康講習会を開催

3. すこやか栄養教室の開催

高齢者が住み慣れた地域で支え合いながら、健康で元気に暮らせるよう、正しい食生活の普及を図っています。

昨年度は、26地区で406人の参加者がありました。

4. 肥満予防普及啓発事業

オペレッタ「森のスーパーマーケット」を入学おめでとう大会で上演し、新1年生158人へ、肥満予防や食事の大切さを啓発しました。



子供たちに食育の演劇を披露

5. 健康まつりで町の特産品メニューの試食・実演

長いもすいとんをはじめ、町特産物を使ったヘルシーメニューの紹介をしました。

町職員人事異動

4月1日付()は前職

◎総務課

◆総括主任運転技能員〔昇格〕
― 蛭沢洋明(総務課主任運転技能員) ◆主事補〔新採用〕― 沼山実鈴

◎財政課

◆参事兼課長〔昇格〕― 米内山嘉一(財政課課長) ◆工事検査室室長― 澤田茂(中央公民館課長補佐) ◆主査― 駒井伸崇(建設課主査)

◎企画課

◆参事兼課長〔昇格〕― 瀬川武春(農林水産課課長) ◆主任主査〔昇格〕― 佐藤智宏(企画課主査) ◆主事〔新採用〕― 柿崎裕介 ◆主事〔新採用〕― 小笠原孝潤

◎建設課

◆課長補佐〔昇任〕― 沼山教一(建設課総括主幹) ◆総括主幹― 竹内由紀子(町民課総括主幹) ◆総括主幹― 新山真(福祉課総括主幹) ◆主任主査― 野田武儀(スポーツ振興課主任主査) ◆主任主査〔昇格〕― 柴崎亮示(建設課課長補佐)

設課主査 ◆主査― 蛭名真一(町民課主査) ◆主事補〔新採用〕― 北谷慎一郎

◎農林水産課

◆課長― 荒木勝(水道課課長) ◆総括主幹〔昇格〕― 尾形繭豪(農林水産課主幹) ◆総括主幹〔昇格〕― 乙供信博(農林水産課主幹) ◆主事〔新採用〕― 鎌本大輔

◎税務課

◆課長補佐〔昇任〕― 蛭澤博幸(建設課総括主幹) ◆総括主幹― 立崎きみ子(福祉課地域包括支援センター総括主幹) ◆総括主幹〔昇格〕― 島川達哉(税務課主幹)

◎町民課

◆町民課― 町屋好子(学務課総括主幹) ◆総括主幹― 蛭名まさ子(福祉課地域包括支援センター総括主幹) ◆主査― 吹越裕司(学務課主査) ◆主事〔新採用〕― 和田淳史

◎福祉課

◆課長〔昇任〕― 蛭沢邦博(福祉課副参事) ◆副参事〔昇格〕― 和田勝彦(図書館館長補佐) ◆副参事〔昇格〕― 沼村正幸(福祉課課長補佐) ◆総括主幹― 瀬川司(財政課総括主幹) ◆地域包括支援センター総括保健師― 大久保恵子(保健衛生課総括保健師) ◆主任主査〔昇格〕― 大杉樹(福祉課主査) ◆地域包括支援センター主事〔新採用〕― 赤羽路子

◎保健衛生課

◆副参事兼所長〔昇格〕― 坂本修(保健衛生課課長補佐) ◆課長補佐〔昇任〕― 乙供俊彦(スポーツ振興課総括主幹) ◆総括保健師― 附田留美子(福祉課地域包括支援センター総括保健師) ◆総括栄養士〔昇格〕― 小沼奈緒美(保健衛生課主任栄養士) ◆主事〔新採用〕― 中村勇斗

◎商工観光課

◆参事兼課長〔昇格〕― 濱中亮徳(商工観光課課長) ◆副参事〔昇格〕― 榎崎秀俊(建設課課長補佐) ◆総括主幹〔昇格〕― 金沢明子(商工観光課主任主査) ◆主事〔新採用〕― 瀬川博美

◎下水道課

◆課長補佐〔昇任〕― 向井光夫(下水道課総括主幹) ◆主事〔新採用〕― 杉山直人

◎東北支所

◆参事兼支所長〔昇格〕― 沼田

栄之進(農業委員会事務局長)

◎会計課

◆会計管理者兼参事〔昇格〕― 羽立輝喜(会計課課長)

◎水道課

◆課長〔昇任〕― 蛭沢和夫(下水道課副参事) ◆主事〔新採用〕― 西濱大祐

◎議会事務局

◆事務局長― 竹内稔(福祉課課長) ◆総括主幹― 蛭名美弥子(総務課総括主幹)

◎農業委員会

◆事務局長〔昇任〕― 江刺家邦彦(財政課副参事兼工事検査室長) ◆次長〔昇任〕― 甲田京子(農業委員会総括主幹)

◎選挙管理委員会

◆事務局長〔昇任〕― 附田桂一(税務課副参事)

◎学務課

◆課長〔昇任〕― 高松克彦(学務課副参事) ◆課長補佐〔昇任〕― 蛭名武彦(企画課総括主幹) ◆主任主査〔昇格〕― 町俊博(学務課主査) ◆主査― 漆戸和哉(農林水産課主査) ◆主事補〔新採用〕― 向井真奈美

◎社会教育課

◆参事兼課長〔昇格〕 一竹内俊彦（社会教育課課長） ◆課長補佐〔昇任〕 一河島徳悦（社会教育課総括主幹）

◎スポーツ振興課

◆総括主幹 一古屋敷健一（税務課総括主幹） ◆総括主幹〔昇格〕 一松尾雅樹（商工観光課主幹）

◎中央公民館

◆参事兼館長〔昇格〕 一蛭名一弘（中央公民館館長） ◆副参事〔昇格〕 一佐々木勝雄（町民課課長補佐）

◎図書館

◆館長補佐 一沼山政広（保健衛生課課長補佐）

◎退職（3月31日付）

◆吹越秀人（東北支所参事兼支所長） ◆市川正統（商工観光課副参事） ◆蛭名とみ子（保健衛生課総括主幹） ◆町屋美佐夫（学務課参事兼課長） ◆蛭名善治（選挙管理委員会参事兼事務局長） ◆新山賢一（議会事務局参事兼事務局長） ◆中村雅樹（企画課参事兼課長） ◆乙崎啓子（町民課総括主幹） ◆藤森梢（保健衛生課保健師）

4月に新しく採用されたフレッシュな顔ぶれを紹介します



福祉課 **赤羽路子**
町民への心遣いを忘れず、皆さんに信頼される職員を目指します。



企画課 **柿崎裕介**
町民の役に立てるよう、笑顔を忘れず、誠心誠意頑張ります。



農林水産課 **鎌本大輔**
実家での畜産の経験を生かし、町民のために一生懸命頑張ります。



町民課 **和田淳史**
国民年金を担当します。明るく元気に、笑顔の対応を心掛けます。



商工観光課 **瀨川博美**
小川原湖交流センターに勤務します。ぜひ一度足を運んでください。



下水道課 **杉山直人**
早く仕事を覚えて、少しでも町の発展に貢献できるよう頑張ります。



水道課 **西濱大祐**
仕事は楽しく、やりがいを感じます。地域貢献できるよう頑張ります。



企画課 **小笠原孝潤**
学んできたパソコンの知識を生かし、町民のために精一杯頑張ります。



総務課 **沼山実鈴**
明るい対応を心掛け、親しみやすく頼りになる職員を目指します。



建設課 **北谷慎一郎**
初めてのことでなければ学ぶことがたくさん。早く仕事を覚えたいです。



学務課 **向井真奈美**
子供たちが元気に学校生活を送れるよう、一生懸命頑張ります。



保健衛生課 **中村勇斗**
公務員としての自覚と責任を持ち、フレッシュに元氣よく頑張ります。

桜まつり

期 日 / 4月29日(祝)
~ 5月5日(祝)

主会場 / 小川原湖公園



野球シーズン幕開け!
観桜野球大会

4月24日(日)、5月1日(日)
町民運動場(旭町)



中部上北観桜
グラウンドゴルフ
交歓交流大会

4月29日(祝)
午前8時30分
小川原湖公園キャンプ場



地引網漁体験

5月5日(祝)
午前10時
小川原湖公園湖水浴場
参加料 / 無料(魚採取は小学生以下)
試食会 / 1人200円



花切川へら鮒釣り全国大会
5月3日(祝)

受付時間 / 午前4時
競技時間 / 午前5時~午前11時
参加料 / 大人(高校生以上) 2,000円
ジュニア(中学生以下) 1,000円

●問合せ…役場 商工観光課 TEL 0176-56-3111 またはTEL 0175-63-2111

サッカースポーツ少年団メンバー募集中

町サッカースポーツ少年団では、メンバーを募集中です。

子どもも親も指導者も一緒になってサッカーを楽しんでいる元気なクラブで、「GLANZ東北FC」として各種大会にも出場しています。

サッカーに興味がある方、サッカーで体を鍛えたいという方は、みんなで心地よい汗を流しましょう。

なお、毎週月曜日に練習の見学会を行っていますので、お気軽にお越しください。

- 募集対象者…町内在住の小・中学生
- 練習見学会…毎週月曜日 午後7時~午後9時
ふれあいドーム上北
(保護者同伴でお越しください。)
- 問 合 せ…町サッカースポーツ少年団
事務局 漆畑(役場 水道課内)
TEL 0176-56-3111または
TEL 0175-63-2111(内線383)



広報とうほく
クイズに挑戦

図書カードプレゼント

正解者の中から抽選で5名の方に「図書カード」をプレゼント！あなたもチャレンジしてみましよう！

応募方法

☆ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号と答えを書いて送ってください。応募の際、広報などについてのご意見もお待ちしております。

☆応募先 〒039-2492
東北町上北南四丁目32-484
役場企画課「クイズに挑戦」係
☆応募締切 5月6日(金)

今月の問題

Q1 平成22年度教育委員会表彰授与式で、受賞者を代表してお礼の言葉を述べた人は誰？

(ヒントP5)

Q2 第41回手踊名人決定戦で手踊名人位に輝いた人は誰？

(ヒントP8)

Q3 小川原小児童が制作したシジミアートの題名は？

(ヒントP11)

3月号の答え

- ①雪の中田植え
- ②う～WANO
- ③旭町

3月号当選者

- 蛸名 葉澄さん
- 久保田淑恵さん
- 千葉むつ子さん
- 和田 洋子さん
- 中野ひなたさん



4月から

「障害年金加算改善法」
が施行されます

これまでは障害年金を受ける権利が発生したときに、受給権者によって生計を維持している配偶者や子供がいる場合で、障害等級が1級または2級に該当する方に加算を行っていましたが、平成23年4月施行の「国民年金法等の一部を改正する法律」により、障害年金を受ける権利が発生した後に、生計を維持することになった配偶者や子供がいる場合にも、届出によって加算を行うこととなります。

◆平成23年3月までは…

受給権発生時、既に生計を維持する配偶者や子供を有している場合には、受給権発生時（生計維持関係を確認）から加算の対象となります。

◆平成23年4月からは加算の
範囲が拡大されます

平成23年4月1日以前、受給権発生後に生計を維持する配偶者や子供を有している場合には、法施行時（3月31日）における生計維持関係を確認）から加算の対象となります。

4月1日以降、受給権発生後に生計を維持する配偶者やお子さんを有することとなった場合は、その事実が発生した時点（婚姻、出生等の事実が発生した日における生計維持関係を確認します）から加算の対象となります。

障害基礎年金の子加算
運用の見直しと
児童扶養手当との関係

障害基礎年金の子加算の範囲が拡大されることで、併せて障害基礎年金の子加算の運用についても見直しが行われます。

児童扶養手当は、子供が障害基礎年金の子加算の対象である場合は支給されませんが、平成23年4月以降は、児童扶養手当額が障害基礎年金の子加算額を上回る場合においては、年金受給権者と子供との間に生計維持関係がないものとして取り扱い、子加算の対象としないことにより児童扶養手当を受給することが可能となります。

◆児童扶養手当と障害基礎年金の子加算の間で受給変更
ができる場合

両親の一方が児童扶養手当方施行令で定める障害（国民年金または厚生年金法1級相当）の状態であることで、配偶者に支給される児童扶養手当と障害基礎年金の子加算で受給変更が可能となります。

◆児童扶養手当と障害基礎年金の子加算の間で受給変更
ができない場合

母子世帯や父子世帯の方は、児童扶養手当と障害基礎年金の子加算で受給変更ができません。

◆問合せ

▽青森年金事務所

TEL017-734-7490（代表）

▽役場 町民課

TEL0176-56-3111または

TEL0175-63-2111



高瀬川河川事務所 河川愛護モニター募集

◆活動内容

高瀬川や小川原湖に関する情報提供や異常を発見した場合の通報など

◆活動地域

高瀬川河口から小川原湖周辺の中で日常的に接する地域

◆応募資格…河川愛護に関心を持ち、高瀬川や小川原湖の近隣に居住する20歳以上の方

◆手当…月額4,500円程度

◆委嘱期間

7月1日～来年6月30日

◆申込方法…5月6日（金）までに履歴書および「自分と小川原湖の関わり」について簡単に書いたものを送付

◆申込み・問合せ

国土交通省 高瀬川河川事務所 用地課
TEL0178-28-7135

公立松風荘看護師募集

◆応募資格…既に正・準看護師の資格を有する方

◆応募方法…履歴書および正・準看護師免許証の写しを提出

◆応募締切…随時

◆募集人員…3人程度

◆採用日…面談の上決定

◆申込み・問合せ

中部上北広域事業組合事務局 庶務課
TEL 0176-62-5151



県税口座振替の 申し込み受付中

県では、県税の口座振替の申し込みを受け付けています。

県税の納税は、安全・確実な口座振替をご利用ください。

◆口座振替を利用できる県税
▽個人事業税…8月・11月納期分（定期賦課分）

▽自動車税…6月納期分（定期賦課分）

▽法人県民税、法人事業税など…中間申告、確定申告分

▽軽油引取税…特別徴収義務者の申告分（徴収猶予分を除く）

◆振替日

▽個人事業税、自動車税…納期限の日

▽法人県民税・法人事業税など、軽油引取税…申告期限の翌月25日

◆申込期限

▽個人事業税…8月中旬

▽自動車税…4月30日

▽法人県民税・法人事業税など、軽油引取税…申告期限日

◆申込方法

納税者本人の通帳と預金届出印を持参の上、申込用紙（取扱金融機関や各地域県民局県税部の窓口）に備え付けてあります。最寄りの取扱金融機関または各地域県民局県税部にお申し込みください。

◆問合せ…上北地域県民局

県税部 納税管理課
TEL0176-22-8111

個人住民税などの 徴税体制を強化します

上北地域県民局と管内市町村は「地方税徴収確保推進宣言」に基づき、地方税の徴収確保対策を推進しています。

上北地域県民局県税部では、市町村から住民税の滞納者に係る徴収権を一部引継ぎ、差し押さえなどの滞納処分を執行しています。

また、県税部と市町村が共同して催告や滞納整理を行うなど、地方税の徴収確保に全力で取り組んでいます。

◆問合せ…上北地域県民局 県税部 納税管理課
TEL0176-23-4241

総合相談

～人権、行政相談～

町外の会場も利用できますので、お気軽にご相談ください。

4月18日

◇時間…10時～正午
◇場所…コミュニティセンター 未来館

5月2日

◇時間…10時～正午
◇場所…東北町役場 本庁舎2階 休養室

5月11日

◇時間…9時～正午
◇場所…七戸町役場 本庁舎・分庁舎

◆問合せ…役場福祉課
TEL 0176-56-3111
TEL 0175-63-2111



公立七戸病院の眼科 5月6日休診

公立七戸病院の眼科は、5月6日（金）休診となります。

◆問合せ…公立七戸病院
TEL0176-62-2105

小川原湖青年の家 友情のつどい

◆期日…5月14日（土）
～15日（日）1泊2日

◆場所…小川原湖青年の家、
三沢航空科学館

◆対象…小学生

◆参加料…2,000円

◆内容…レクリエーション、
科学実験、創作体験活動

◆申込締切…5月5日（木）

◆申込み・問合せ
公立小川原湖青年の家
TEL0176-56-2393

山火事を防止しましょう

野山が乾燥して山火事が発生しやすい季節となりました。

県では4月10日から6月10日までを「山火事防止運動強調期間」と定め、パレードなどによって山火事防止を呼び掛けています。

お互いに注意し合って山火事を防止し、大切な森林を未来へ引き継ぎましょう。

◆問合せ
県農林水産部林政課
TEL017-734-9505

電話帳を 配達・回収します

N T T東日本青森支店では、4月中に順次、新しい電話帳を各家庭へお届けしますので、現在お使いの電話帳は配達員へお渡してください。

不在などで配達員に古い電話帳を渡せなかった場合は、タウンページセンタへご連絡ください。

◆問合せ
タウンページセンタ
TEL0120-506-309

三沢航空科学館 「零戦がやってきた」

映画で使用した零戦の実寸大機を展示します。

小川原湖から引き揚げられた本物のプロペラと左脚部の展示も行います。

◆期間…10月30日（日）まで
◆時間…午前9時30分～午後4時（エンジン始動とプロペラ回転展示は土・日曜日、祝日の午後2時）

◆問合せ
県立三沢航空科学館
TEL0176-50-7777

子どもを交通事故から 守りましょう

◆「飛び出し」の防止をしっかりと指導しましょう

子供は一つのことには注意が向くと、周囲のことは目に入りません。

◆「しっかり」見ることの意味や大切さを子供の目の高さで指導しましょう

子供に見える道路の様子は大人とは違います。

◆通学路を実際に見て確認し安全な横断の仕方を指導しましょう

子供は自分の位置と危険の関係の認識が未熟で直感的、感覚的に行動します。

◆信号が青でも右左折車が来ることを理解させ常に左右の安全を確認するよう指導しましょう

子供は「青信号は安全」と思い込む傾向にあります。

◆注意するときの「声掛け」は具体的に分かりやすくしましょう

子供は抽象的な言葉だけでは危険を理解することができません。

◆問合せ…七戸警察署
TEL0176-62-3101

今日の

おはなし会

と き：4月16日（土）
午後2時～

と ころ：町立図書館
乙供分室
（中央公民館内）

問合せ：町立図書館
TEL0176-56-2261

東北町テレビ ただ今試験放送中

地上デジタル11チャンネルの「東北町テレビ」は、ただ今放送準備中です。

本放送開始まで、しばらくお待ちください。

問合せ：役場 企画課
TEL0176-56-3111

東北町立図書館から **新着図書** のお知らせ

□一般図書

書名	著者名など	書名	著者名など
蛇と月と蛙	田口ランディ	子家庭の身代金	赤川 次郎
うからはらから	阿川 佐和子	無花果の実のなるころに	西條 奈加
冥府小町	澤田 ふじ子	Q わたしの思考探求①	NHK「Q」制作班
園児がよるこぶごちそうべんとう	辰巳出版	ホットケーキミックスで作るケーキサレとおかずパン	大庭 英子
ネクタイのリメイク小物	パッチワーク通信社	など40冊（2/24～3/23の新着案内本）	

□児童図書&絵本

書名	作者名など
ふしぎの図鑑	白敷 哲久
シップ船長とチャンピオンくん	かどの えいこ
ほんなんてだいきらい	マイケル・エンバリー
など44冊（2/24～3/23の新着案内本）	

開館時間 ◆東北町立図書館 午前9時15分～午後6時 [TEL0176-56-2261]
 ◆東北町立図書館乙供分室（中央公民館図書室）
 月・水・金（午前10時～午後6時） 木・土・日（午前9時15分～午後5時）
 [TEL0175-63-2741]

休館日 火曜日、祝祭日、蔵書点検、年末年始

都母短歌会

文芸ギヤラリ

風雪に耐へて春待つ辛夷の木
寒さやはらぎて蕾ふくらむ

原田 榛子

風に乗りほのかに匂ふ沈丁花
春の光に競へて咲けり

乙供 洋子

宇曽利湖に向きて軀の一人居り
黙禱のまま止むことのなく

大湊百合子

春彼岸に墓碑の周りの雪のぞき
亡き父母偲び花を手向ける

坂本 政子

風雪に耐へて芽を吹く草花の
強き生命に笑顔はじける

高田智恵子

藪椿に季節はづれの雪降りて
花びら重く春の過ぎゆく

野田 文子

梅の香の匂ふ空気を吸ひながら
歩調も軽く果樹園を行く

田沢 泰子

麗らかな春の陽注ぐ庭なかに
芽吹き整ふ水仙の花

松山 悦子

平成23年2月届出分

TOHOKU
戸籍の窓

“戸籍の窓”は原則町内に住所のある方を掲載しておりますが、町内出身者等で希望する方も掲載しております。

誕生

氏名	町名	保護者	氏名	町名	保護者
甲地 琥羽	(旭町)	俊文	乙供 栄俐	(南町)	孝泰
林 来魅	(新町)	邦彦	岩清水 惶那	(石坂)	大介

結婚

氏名	町名	氏名	町名
♡ 蛭名 博文	(旭町)	♡ (甲地) 優志	(巴蘭)
和 田 麻未	(上野)	(新山) 山智史	(新山)
♡ (工藤) 優太	(表町)	♡ (成田) 義徳	(北栄)
須 藤 圭	(表町)	(漆館) 葉子	(十和田市)

お悔やみ

氏名	年齢	町名	氏名	年齢	町名
内山 よしの	83	(栄町)	洞内 和子	59	(横沢)
竹内 リツ	93	(菩提寺)	沼山 助十郎	84	(蓼内)
蛭名 義雄	76	(旭町)	下浅 ゆき	63	(乙供栄町)
蛭名 徳要	83	(上野)	蛭澤 鉄也	52	(北栄)
藤田 鉄彦	68	(千曳)	大池 将爾	82	(乙供本町)
澤田 刃藏	87	(豊畑)	吹越 きくよ	91	(甲地)
下田 由次郎	81	(乙供本町)	木村 勇次郎	88	(大池)
岡山 春松	84	(漆玉)	高橋 清	86	(館花)
中村 しずえ	58	(内蛭沢)			

広報のひとこと



未曾有の大災害となった東日本大震災。甚大な被害を受けた宮城県南三陸町の町長の言葉が印象に残っている▼災害問もない避難所にて「今、何を一番望むか」という問いに対し、涙ながらに「地震前の南三陸町」と答えていた▼停電などの被害はあったものの、私たちは一週間ほどで、地震前の東北町に戻ることができた▼スイッチを入れば水が出る。温かい風呂に入り布団の上で眠る。家族や知人に囲まれて住み慣れた地域で暮らす…。普通の生活がなんとげいたくない▼一人では生きていけない。私たちが多くの人を支えにより生かされている。今回の震災で学んだことを決して忘れてはならない。(雅)

Statistics
統計

町の人口《2月分》

[]は、昨年同期との比較増減。
※()内は1月からの累計

男	9,533人	[△ 70人]
女	10,264人	[△ 46人]
計	19,797人	[△ 116人]
世帯数	7,105戸	[54戸]
出生	4人	(19人)
死亡	20人	(47人)
転入	27人	(65人)
転出	20人	(57人)

町の交通事故《2月》

()内は1月からの累計

人身事故	7件	(19件)
負傷者	7人	(22人)
死亡	0人	(0人)

町の火災《2月》

()内は1月からの累計

建物	1件	(2件)
林野	0件	(0件)
車両	0件	(0件)
その他	0件	(1件)

救急車出動件数《2月》

()内は1月からの累計
46件(99件)

中部上北消防本部

中央消防署 TEL 0176-62-3141

上北消防署 TEL 0176-56-2119

東北消防署 TEL 0175-63-2520



しゅうせい
三男〔1歳〕 **崇晟**くん

パパ 向 井 徳 敦 さん
ママ 留 美 子 さん

お兄ちゃんたちにかわいがられながら鍛えられています。
ずーっと笑顔を忘れないでネ。



ま や
長女〔1歳〕 **真弥**ちゃん

パパ 沼 村 伸 也 さん
ママ 幹 子 さん

真弥の笑顔で何でも頑張ることが出来ます。
生まれてきてくれてありがとう。



春らしいさわやかな着物でお点前を披露



優雅な雰囲気でおもてなし

優雅に来場者をおもてなし 表千家茶道教室ひなまつりお茶会

表千家茶道教室（姥名ナミ工代表）は2月27日、さくら温泉で「ひなまつりお茶会」を開き、入浴客を優雅な雰囲気でもてなしました。

お茶会は、普段休憩用に使用している和室を活用。茶道教室の会員が持ち寄ったひな人形400体を、会場を囲むように展示しました。

入浴客は、きらびやかなひな壇に囲まれながら抹茶や桜餅を味わい、春の雰囲気に浸っていました。



400体のひな人形が来場者をお出迎え

